

いけるよ！徳島・行動計画

## 主要事業等評価シート

基本目標1 「にぎわい・感動とくしま」

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

基本目標1「にぎわい・感動とくしま」

1-1 ひろがる交流とくしまづくり

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
6	●高速道路新料金を最大限活用し、徳島の経済活性化やにぎわいづくりを図るため、活用戦略を策定し、「県外からの観光誘客対策」及び「物流活性化による産業振興対策」を推進します。	推進	→	→	→	834万台	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・「徳島の魅力」を知っていただくための情報発信、イベントの開催などの観光誘客対策や、物流の活性化を図るための各種施策の取組を推進した。 ・H23の大鳴門橋通行台数は、前年度の860万台を下回った。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;</b> ○  <b>&lt;課題&gt;</b> 台数の多い兵庫県、大阪府以外の都道府県に対しても、更なる魅力発信に努める必要がある。 （課題把握の方法） 本四道路を出てくる車のナンバープレート調査	<b>&lt;取組方針&gt;</b> ・本県の経済活性化とにぎわいづくりを図るため、引き続き「観光誘客対策」、「物流活性化対策」の取組を推進する。	政策・商工・県土	C	リーマンショック以降の日本経済の低迷等で、大鳴門橋の通行台数が少なくなったことは理解できるが、平成21年度の実績を下回ったことや、平成23年度の取組、今後の取組においても新たな対策が見えないことから、C評価とした。
	○大鳴門橋の通行台数 [21]852万台→[26]1,000万台										
	○年間の延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人	133万人	138万人	143万人	148万人						
18	●都市公園・緑地について、社会情勢の変化に対応して、その必要性や実現性を再検証し、関係市町と協働して見直しを推進します。	推進	→	→	→	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 徳島東部都市計画区域の市町と、今後の都市計画の課題について協議を行う  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;</b> ○  <b>&lt;課題&gt;</b> 関係市町の実情を把握するとともに、先進地の事例を調査	・先進地の事例の研究と現況の把握に努める	県土	C	非常に難しい課題であるが、その取組内容からどのようにしたいのか、具体的方向性がまったく見えないことから、C評価とした。	
19	●都市中心部の活性化を図るため、先導的な中心市街地の再開発事業等を支援します。	推進	→	→	→	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 事業主体において、都市計画素案作成のため関係の行政機関と協議を行う。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;</b> ○  <b>&lt;課題&gt;</b> 再開発事業の前提となる条件整備	・都市計画法に則り事業主体との協議を行う	県土	C	非常に難しい課題であるが、その取組内容からどのようにしたいのか、具体的方向性がまったく見えないことから、C評価とした。	

1-2 観光立県とくしまづくり

45	●全国に向けた本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、全国初となった「コンビニ型アンテナショップ」のさらなる展開を促進するとともに、県外の民間店舗を、県が「阿波とくしまアンテナショップ」として認定し、官民協働による、アンテナショップ展開を図ります。	推進	→	→	→	-	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・ローソン・ハイウェイピット基山上り店（九州自動車道基山PA）へアンテナショップ（臨時）を出店した。高速道路PAでのアンテナショップ出店は、全国初の試み。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;</b> ○ <b>&lt;課題&gt;</b> ・新たな情報発信拠点の整備	・引き続き、アンテナショップの展開を促進する。	商工	D	コンビニ型「公設アンテナショップ」の全国展開が、全国展開を行うには相当な努力が必要であり、現在の取組では、目標を達成できないものと思われる。そのため、新たな対策を追加して取り組む必要がある。
	○コンビニ型「公設アンテナショップ」の全国展開 [26]全国展開				全国展開						
	○民間店舗型「阿波とくしまアンテナショップ」の新規認定 [26]新規認定				新規認定						
47	3 「おもてなしの国とくしま」づくりの推進 ●個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、観光案内ステーション等の情報発信拠点の充実や、鉄道、路線バス、タクシー等を活用した着地型の観光情報の発信を図るとともに、徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	推進	→	→	→	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・観光客誘致及び受け入れ態勢の強化を推進することにより、観光客の周遊性・滞留性を高め、一層の観光振興を図った。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;</b> ○ <b>&lt;課題&gt;</b> 観光客に直接接することの多い観光事業者の接遇向上	・「おもてなしの心」や自然に恵まれた徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進することにより、さらなる誘客促進に努める。	商工	C	平成23年度に具体的に何をを行ったのか、また今後の取組も明確でないことから、C評価とした。「おもてなし」のところを具体的な成果などで示さないとわかりにくい。具体的な目標設定が必要である。	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見		
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項	
52	●海外と徳島阿波おどり空港の間におけるチャーター便の誘致促進、関西広域連合における広域観光の推進などにより、外国人宿泊者数の増加を目指します。	推進	→	→	→	17,040人	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県－湖南省の「国際定期チャーター便」の就航</li> <li>「関西観光・文化振興計画」の策定</li> <li>広域観光ルートの設定</li> <li>海外トッププロモーション（北京・上海）の実施</li> <li>中国観光大臣との「要人会見・観光フォーラム」の開催</li> </ul> <p>本県はもとより関西への誘客を促進した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>一時運航休止した定期チャーター便の再開を図るとともに、新たに制定した「関西観光・文化振興計画」の普及・促進を図る必要がある。（課題把握の方法）</p> <p>チャーター便乗客数の把握と関西全域を対象とした観光統計調査の実施により、課題の把握を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KANSAI観光大使の任命と活用</li> <li>ITを活用した観光ルートのPR</li> </ul>	商工	C	数値目標に対し実績が大きく下回っているとともに、定期チャーター便が休止していること、また、今後の取組としてチャーター便の再開や新たなルートの開設に向けた取組がないことから、C評価とした。	
	○県内への外国人宿泊者数（延べ人数） [21]12,560人→[26]50,000人	22,000人	35,000人	43,000人	50,000人							
	○徳島阿波おどり空港へのチャーター便による外国人入込客数 [21]－→[26]15,000人	6,000人	12,000人	13,000人	15,000人	1,705人						
53	5 「阿波とくしま」魅力向上の推進 ●先進的な医療サービスの提供と豊富な観光資源や地域食材を組み合わせた医療観光（メディカルツーリズム*）を推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外トッププロモーションでの「癒しと健康」をテーマとした「フォーラム」の開催と旅行会社への医療観光・セールスコールの実施</li> <li>「経済サミットin上海」の開催</li> <li>湖南省・テストチャーター便を活用した徳島大学ドクターによるPR班の派遣、</li> <li>湖南省大手旅行会社の副社長を招いての徳大での糖尿病検診の実施</li> <li>人間ドッグ実施施設の拡大などにより、医療観光の売り込みを図った。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>中国を中心としてアジア市場へのさらなる売り込みを図る必要がある。（課題把握の方法）</p> <p>検診受診者の需要把握を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上海事務所が有する人脈や湖南省との友好提携を武器に、ツアー商品の造成を図る</li> </ul>	商工	D	海外への売り込みであり相当頑張っているように思うが、実績があまり上がっていないと聞いていることから、D評価とする。	

1-4 文化立県とくしまづくり

72	●人形浄瑠璃の一層の振興を図るため、伝統芸能を観光資源として活用し地域の活性化を促進するとともに、後継者育成や伝統芸能の保存・継承のための取組を進めます。また、兵庫県と連携して両県の人形浄瑠璃関係団体の交流などの事業を実施するとともに、「ジョールリ100公演」を継続して開催します。	推進	→	→	→	26,400人	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>阿波人形浄瑠璃振興の拠点施設である阿波十郎兵衛屋敷の機能強化を図るためのアクションプランを策定した。</p> <p>また、徳島県・京都府・兵庫県の官民16団体による「人形浄瑠璃街道連絡協議会」の設立や、関西広域連合における「文化の道」事業のテーマとして「人形浄瑠璃」が決定されるなど、広域での取組が進展した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;△</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>阿波人形浄瑠璃の観光資源としての活用。（課題把握の方法）</p> <p>これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県域を越えた広域的な取組を通じ、互いに技を磨くとともに、より効果的な情報発信を行う。</li> <li>阿波十郎兵衛屋敷の機能強化を図るアクションプランを着実に実施する。</li> </ul>	県民	C	入館者数が目標を下回っており、現段階で目標達成は難しい状況である。このような中、まず、小中学生や県内の方にも阿波十郎兵衛屋敷に来ていただけるよう、人形浄瑠璃だけでなく人形劇や影絵、サンドアートなど新たな取組を取り入れることも大切と思い、C評価とした。
	○「阿波十郎兵衛屋敷」入館者数 [21]30,466人→[26]35,000人	32,000人	33,000人	34,000人	35,000人						

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

基本目標1「にぎわい・感動とくしま」

1-1 ひろがる交流とくしまづくり

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
1	<p>1 空港の利用促進</p> <p>●エアポートセールス*を推進し、定期航路の新規開設を図るとともに、徳島を発着する航空路線の利便性向上、ターミナルビルにおけるイベント開催によるにぎわい創出などにより、「徳島阿波おどり空港」の利用を促進します。</p>	推進	→	→	→	<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>1 航空会社等に対するエアポートセールス（南方航空、FDA等）</p> <p>2 チャーター便の就航支援</p> <p>3 国内定期路線の利用促進イベントの開催</p> <p>※ 羽田空港第2ターミナルビルでのPRイベント、キャンペーンなど</p> <p>4 徳島阿波おどり空港ターミナルビルにおけるイベント（計60回以上）</p> <p>※ 絵画、写真、華道の展示や、物産展、コンサート、阿波おどりなど</p>	<p>・国内定期路線の利用促進PR</p> <p>・国際チャーター便の誘致</p>	県土	B	<p>平成23年度は、航空会社等に対するエアポートセールスやチャーター便の就航支援、羽田でのPRイベントの開催などを実施しており、東京便が1往復増便となっており、実績も上げている。しかし、長沙・徳島間の国際チャーター便が就航したものの運休となっており、定期航路の開設には至っていないことから、今後、季節便などの開設など一層の努力を期待して、B評価とした。</p>	
	<p>○定期航路の新規開設</p> <p>[26]開設</p>				開設	—					<p>上記の取組により、徳島＝東京線が1往復増便し、過去最高の1日10往復便となった。また、徳島初となる国際定期チャーター便（長沙＝徳島）が7往復就航した。（現在、一時運航休止）</p> <p>＜現状での達成見込み＞◎</p> <p>＜課題＞</p> <p>空港利用者や航空需要の拡大（課題把握の方法）</p> <p>空港利用者にアンケートを実施</p>
2	<p>●徳島阿波おどり空港の臨空用地において、早期の企業立地の実現を図り、雇用の場を確保するなど、“にぎわい”のある「臨空エリア」形成に努めます。</p>	推進	→	→	→	<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>民間業者の進出を促すため、譲渡に制限していた処分計画を賃貸についても可能とした。また、処分予定対価についても、工事費の対価での売却を予定していたが、近年の地価の下落により工事費の対価と時価との乖離が著しいことから、時価（売却時点における鑑定価格）によるものに変更した。</p> <p>以上により、空港支援用地7区画の貸付及びメガソーラーの誘致により、発電施設用地3.3haの貸付が決定した。</p>	<p>・現在進出検討中の企業への細やかな対応</p> <p>・訪問実績のある企業への再訪問</p> <p>・新規企業訪問</p> <p>・津波情報収集と企業への情報提供</p>	県土	B	<p>県の臨空用地をメガソーラー用地として貸付けたというものであるが、“にぎわい”のある「臨空エリア」形成を目指していることから、空港の利用促進には繋がらない。ただ、東日本大震災により、自然エネルギーへの期待や津波高の想定が変わったことを加味した。“にぎわいづくり”のための再検討が必要である。</p>	
	<p>○臨空用地の売却・貸付状況</p> <p>[21]1区画売却→[26]全区画を売却・貸付</p>				全区画を売却・貸付	<p>空港支援用地7区画・発電施設用地3.3ha</p> <p>＜現状での達成見込み＞◎</p> <p>＜課題＞</p> <p>最大津波高想定の変更により企業が海岸に面した用地への進出を控える可能性があるため、危機管理情報の把握と整理が必要（課題把握の方法）</p> <p>南海地震防災課等からの情報収集</p>					
3	<p>2 港湾の利用促進</p> <p>●徳島小松島港沖洲（外）地区において、物流の効率化に向けた船舶の大型化への対応と大規模地震発生時における緊急物資等の海上輸送路確保のため、新たな岸壁の整備を推進します。</p>	推進	→	→	→	<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>1 現地工事に着手</p> <p>2 国の3次補正(35.6億円)により大きく進捗</p>	<p>・引き続き事業を促進する。</p>	県土	A		
	<p>○徳島小松島港沖洲（外）地区（水深8.5m耐震強化岸壁）の整備</p> <p>[21]整備中→[26]供用</p>				供用	<p>工事施工中</p> <p>＜現状での達成見込み＞◎</p> <p>＜課題＞</p> <p>工程上、順調に推移していることから、特になし（課題把握の方法）</p> <p>これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析</p>					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
4	<p>●徳島小松島港におけるコンテナターミナルの赤石地区移転に伴い、県内の産業振興、地域経済の活性化を推進するための各種「貿易振興策」を実施します。（再掲）</p> <p>○コンテナ貨物取扱量 [21]10,600TEU*→[26]15,000TEU</p> <p>○韓国航路の充実 [23]新たなコンテナ利用促進対策の実施</p> <p>○新たなアジア航路の開設 [26]開設</p>	推進	→	→	→	11,443 TEU	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>①ポートセールス活動 県内外の荷主や船会社（105社）を訪問し、徳島小松島港の利用をPRした。 新規航路の開設を平成26年より早期に実現できるよう船会社と交渉中。</p> <p>②荷主への助成制度の実施 「新たなコンテナ貨物の獲得」と「取扱貨物量の増大」を図るため、荷主への助成制度として「徳島小松島港コンテナ利用促進事業」を実施した。 (結果) → 新規荷主36社、大口荷主21社が助成制度を利用し、H22年度より約1,400TEUのコンテナ貨物取扱量を増やした。</p> <p>&lt;現状での達成の見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt; コンテナ貨物取扱量の増減は、国内外の景気・経済に大きく左右される。 (課題把握の方法) コンテナ統計データを毎月集計し、取扱量の経年変化、貿易相手国・取扱品目などの内訳について分析を行っている。</p>	<p>コンテナターミナルの利用促進を図るため、</p> <p>①広報・宣伝活動 PRパンフレット（英語・中国語併記）の作成・配布</p> <p>②ポートセールス活動 県内外の荷主や船会社に継続的にPR</p> <p>③荷主等への助成制度の実施 平成23年度から取り組んでいる 「徳島小松島港コンテナ利用促進事業」を 継続・拡充して実施</p>	県土	B	
3 5	<p>3 高速道路の利用促進</p> <p>●本四道路による地域間格差を解消するため、高速道路料金については、本四道路も含めて「全国一律料金制度」とするよう、その実現を目指し、本四道路が「夢の架け橋」となる取組を推進します。</p> <p>○「全国一律料金制度」の実現 [26]実現</p>	推進	→	→	→	国から基本方針が出る	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>「本四高速の料金等に関する調整会議」において、平成26年度より全国共通料金を導入することを目指すことで、国と関係府県市が合意した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt; 本四高速以外の高速道路利用者からの支援も必要となる。 (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析</p>	<p>・平成24年度末を目途に全国共通料金への具体的な実施方針を取りまとめることを引き続き国に対して提言・要望を行う。</p>	県土	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
7	4 広域交通ネットワークの整備 ●徳島小松島港において、国内海上物流の拠点となる港湾整備を推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 赤石地区の内質ふ頭内道路の整備を行った。これにより、小松島市の一般廃棄物処分場に係る埋立箇所を残し概成した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt; 工程上、順調に推移していることから、特になし (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析</p>	概成した箇所を供用開始する。	県土	A	
8	●近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道（鳴門～阿南間）の整備及び徳島自動車道の追越車線等の付加車線設置を促進します。	促進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; ・四国横断自動車道（鳴門～徳島間）の工事全面展開中 ・四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の調査設計中 ・四国横断自動車道（徳島東～小松島間）の設計協議中 ・四国横断自動車道（小松島～阿南間）の全地区で設計協議調印、一部工事施工中</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt; 順調に推移していることから、特になし (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国横断自動車道（鳴門～徳島間）のH26年度供用</li> <li>四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の事業促進</li> <li>四国横断自動車道（徳島東～小松島間）の設計協議促進</li> <li>四国横断自動車道（小松島～阿南）の用地取得・工事促進</li> </ul>	県土	A	全ての区域で順調に整備が進んでいることから、A評価とした。
	○四国横断自動車道（鳴門～徳島間）の整備 [21]工事全面展開中→[26]供用					供用	工事全面展開中				
	○四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の整備 [21]調査中→[26]用地買収中（[31]供用目標）					用地買収中	調査設計中				
	○四国横断自動車道（徳島東～小松島間）の整備 [21]設計協議中→[26]用地買収・工事施工中					用地買収・工事施工中	設計協議中				
	○四国横断自動車道（小松島～阿南間）の整備 [21]用地取得率40%→[26]用地取得率95%	65%	80%	90%	95%	68%					
9	●高規格幹線道路*と一体となって高速交通ネットワークを形成する地域高規格道路*について、徳島環状道路、阿南安芸自動車道の整備を促進します。	促進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; ・徳島南環状道路の工事促進 ・徳島環状線 新浜八万工区、国府藍住工区の工事及び用地促進 ・日和佐道路の全線開通（H23.7.16） ・桑野道路の新規事業着手（H23.4.1） ・福井道路がH24年度新規事業箇所として政府予算案に計上 ・海部道路の計画調査中</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt; 徳島南環状道路（9.5km）のH26年度一部暫定供用に向けた進行管理、用地促進及び事業費確保 (課題把握の方法) 事業者との情報交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島南環状道路の工事促進</li> <li>H24.7.8 側道部供用予定 (国道55号～県道宮倉徳島線間1.1km)</li> <li>H26 一部暫定供用予定 (県道宮倉徳島線～国道438号間2.2km)</li> <li>徳島環状線 新浜八万工区、国府藍住工区の工事及び用地促進</li> <li>桑野道路の設計協議促進</li> <li>福井道路の調査設計促進</li> <li>海部道路の計画調査促進</li> </ul>	県土	B	
	○地域高規格道路徳島環状道路（延長21.7km）の供用率（暫定含む） [21]39%（供用延長8.5km） →[26]62%（供用延長13.5km（暫定含む））	47%	47%	47%	62%	47%					
	○地域高規格道路阿南安芸自動車道（日和佐道路 延長9.3km）の供用率 [21]67%（一部供用6.2km、残区間工事展開） →[23]全線供用	100%				100%					
	○地域高規格道路阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備 [23]事業着手	事業着手					調査設計中				
	○地域高規格道路阿南安芸自動車道（福井道路）の整備 [22]都市計画決定→[26]調査設計中						調査設計中	計画調査中			
	○地域高規格道路阿南安芸自動車道（海部道路）の整備 [21]基礎調査中→[26]計画調査中						計画調査中	計画調査中			

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見		
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項	
10	●交流の基盤を支える一般国道32号、一般国道55号バイパスなどの主要幹線道路の整備を促進します。	促進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・猪ノ鼻道路の工事促進 ・阿南道路の工事促進 ・牟岐バイパスの設計協議・用地調査促進  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 順調に推移していることから、特になし (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析	・猪ノ鼻道路の工事促進 ・阿南道路の工事促進 ・牟岐バイパスの用地取得促進	県土	B		
	○一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備 [21]工事施工中→[26]工事施工中				工事 施工 中	工事施 工 中						
	○一般国道55号阿南道路（延長21km）の整備 [21]バイパス区間（阿南市津乃峰町までの15km）の供用 →[24]一般国道195号まで17kmの供用 [26]実施設計中（195号～55号まで1.2km間）			一般 国道 195号 まで 17km の供 用	実施 設計 中	工事施 工 中						
	○一般国道55号牟岐バイパス（延長2.4km）の整備 [21]実施設計中→[26]工事施工中				工事 施工 中	設計協 議 中						
11	●陸海空の広域交通ネットワーク形成に向け、空港・港湾と高規格幹線道路などを連結する道路及び施設の整備を推進します。	推進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 1 徳島空港線（空港～国道28号）4車線供用開始 2 西延伸事業 調査設計の促進 3 マリンピアⅡ期 南側水域埋立竣工 4 津田地区 H26埋立概成に向け、公有水面埋立免許を取得し、7月埋立工事着手し、国直轄事業において発生する浚渫土砂を計画工程通り受け入れた。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 西延伸事業 事業費の確保、用地取得及び工事の推進 マリンピアⅡ期 売却先であるネクスコ西日本との事業調整 津田地区 売却先である国との事業調整 (課題把握の方法) 事業者との情報交換	・西延伸事業 用地取得及び工事の推進に向けた国等への予算要望 ・マリンピアⅡ期 北側水域土地造成に着手 ・津田地区 国直轄事業の発生浚渫土砂を受け入れるための工事工程、売却時期の情報交換を密にする。	県土	A	全ての区域で順調に整備が進んでいることから、A評価とした。	
	○県道徳島空港線（徳島阿波おどり空港～一般国道28号）の整備 [22]暫定供用→[23]供用	供用				供用						
	○県道徳島空港線西延伸（一般国道11号～松茂PA（仮称））の整備 [22]事業着手→[26]供用					供用						事業中
	○マリンピア沖洲第Ⅱ期事業（土地造成） [21]整備中→[26]埋立概成					埋立 概成						工事 施工 中
	○徳島小松島港津田地区整備事業（土地造成） [21]整備中→[26]埋立概成					埋立 概成						工事 施工 中
12	5 公共交通機関の利用促進 ●交通事業者や関係機関と連携しながら、「LED*装飾列車」の運行をはじめ、イベントの開催や実証実験の実施などにより、公共交通機関の利用を促進します。	促進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 1 「100円バス」の運行 2 「サイクルトレイン」の運行 3 「LED装飾列車」の運行 4 阿佐海岸鉄道におけるイベント  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 通常運行時における利用者の更なる増加 (課題把握の方法) 利用者意見を反映した関係者連携による新たな実証実験	・利用者に魅力的な料金体系の提案 ・地域のイベント等とタイアップした利用促進に係る社会実験や啓発活動	県土	B	平成23年度に100円バスやサイクルトレインの運行などのイベントを行っており、その効果が課題となると思うが、「通常運航時の利用者増加」を課題に掲げており、課題把握が十分でない判断し、B評価とした。	
13	●路線バス、鉄道等地域の生活路線を運行する事業者に対して支援を行い、公共交通網を維持・確保します。	推進	→	→	→							<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 1 公共交通機関の利用促進に係る実証実験やイベントを実施 ・「100円バス」、「サイクル・トレイン」等の実証運行 ・官民協働の「交通エコライフキャンペーン」 2 路線バス事業者に対する生活バス路線の維持に係る補助 上記の取組により、公共交通機関の維持及び確保が達成された。  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 公共交通機関の利用促進 (課題把握の方法) 交通事業者等による利用者アンケートを実施

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
14	●阿佐東地域における住民の移動手段確保や観光交流の促進を図るため、阿佐東線及びJR牟岐線において、「新たな車両」の導入に向けた検討を行います。	実証実験	検討	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            実証実験の実施            ・夜間走行試験11月16日、17日、18日（夜間～早朝）            ・デモンストレーション走行2月10日、11日、12日（日中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両開発の支援につながる政策提言の実施</li> <li>DMVの効果的な導入方法について検討</li> <li>DMVのPRなど地元での受入態勢の整備</li> </ul>	県土	A		
	○実証実験の実施 [23]実施	実施				<p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎            &lt;課題&gt;            阿佐東地域における運行方法を検討            （課題把握の方法）            JR北海道との協議、実証実験結果の分析</p>					
15	●パーク・アンド・ライド*、ノーカーデー等の推進により、マイカー利用から公共交通機関利用促進への転換を図ります。（再掲）	推進	→	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            ・地域のショッピングセンターの駐車場を利用する「店舗利用型」や国、JRグループが提供する様々なパーク・アンド・ライドの情報の提供            ・公共交通利用促進キャンペーンを通じたバスや鉄道の利用への意識啓発活動</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎            &lt;課題&gt;            公共交通機関利用に係る意識の醸成            （課題把握の方法）            交通事業者等との協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県、市町村、交通事業者など関係者連携による効果的な情報の提供</li> </ul>	県土	A	パーク・アンド・ライドのメリット（時間・経費など）を具体的に利用者等に示さないと、公共交通利用促進キャンペーンだけでは、利用者は伸びない。また、公共交通機関との接続が悪ければ、利用者は増加しない。	
16	●路線バスにノンステップバス*を導入することにより、公共交通の利便性、快適性の向上を図ります。（再掲）	促進	→	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            路線バス事業者が行うノンステップバスの導入に対して、国と協調して補助を行い、7台のノンステップバスが導入された。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎            &lt;課題&gt;            補助に係る予算措置及び計画的な導入の促進            （課題把握の方法）            路線バス事業者からのヒアリング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス事業者間の導入計画の調整</li> </ul>	県土	A		
	○ノンステップバス（路線バス）の台数（累計） [21]79台→[26]97台	87台	91台	94台	97台	89台					
17	6 効率的な都市形成の推進 ●都市計画区域において、都市計画区域マスタープランの見直しにより、すべての県民が安全で快適に暮らせる効率的な都市形成を推進します。	検討	基礎調査	分析調査	見直し	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            徳島東部都市計画区域の区域マスタープランについて、都市計画の変更手続きを開始し、年度末（H24.3.26）に徳島県都市計画審議会を開催（都市計画決定の変更は（H24.5.30））</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○            &lt;課題&gt;            残る6都市計画区域の基礎調査の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残る6都市計画区域の基礎調査の実施について関係市町との連携</li> </ul>	県土	B		
	○都市計画区域マスタープラン見直し区域数 [21] - → [26]7区域	1区域	1区域	1区域	7区域	0					



番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
20	●ひょうたん島周辺の既存観光資源を中心とした水上ネットワークの構築や回廊整備により、中心市街地から新町川河口までの活性化及び観光振興を図ります。	推進	→	→	→	<p>＜現状での達成見込み＞○</p> <p>○「ひょうたん島回廊」の整備（未整備区間）</p> <p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>グランドデザインの策定</p> <p>＜課題＞</p> <p>（課題：徳島市事業との連携）</p> <p>（課題把握の方法：徳島市との協議）</p> <p>○水上ネットワークの構築</p> <p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>水上バス（ひょうたん島号）の実証実験を実施。</p> <p>＜課題＞</p> <p>徳島市の「川の駅構想」と調整が必要</p> <p>（課題把握の方法）</p> <p>実証実験利用者へのアンケート調査</p>	<p>・協議会の開催</p> <p>・引き続き実証実験を継続し、徳島市の「川の駅構想」と調整。</p>	県土	B		
	○「ひょうたん島回廊」の整備（未整備区間） [26]着手				着手	—					
	○水上ネットワークの構築 [26]構築				構築	—					
21	●徳島小松島港万代中央地区において、既存倉庫群を活用した「憩いの場」や「にぎわい空間」の創出により、地域振興・活性化を図ります。	実証実験 構想策定	推進	→	→	<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>倉庫2棟を対象に、アート展示やコミュニティスペースの提供等の実証実験を実施。</p> <p>＜現状での達成見込み＞○</p> <p>＜課題＞</p> <p>倉庫以外の利活用が可能な規制緩和に向けたルール作り</p> <p>（課題把握の方法）</p> <p>利活用ルール検討会等における倉庫所有者からの意見</p>	<p>・引き続き実証実験を継続するとともに、規制緩和に向けたルール作り等を行う検討会を実施。</p>	県土	B		
22	●徳島小松島港本港地区において、旧フェリーターミナルビル等を交流拠点施設として活用するなど、にぎわいを復活させるため、地域と協働して利活用を推進します。	実証実験	構想策定	推進	→	<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>クルーズ船の運航や海鮮朝市を実施。</p> <p>＜現状での達成見込み＞△</p> <p>＜課題＞</p> <p>交流拠点施設の運営組織（NPO法人等）の強化が必要</p> <p>（課題把握の方法）</p> <p>地元商工会等との連携や観光施設等の充実が必要</p>	<p>・引き続き実証実験を継続し、利活用構想策定に向けた検討を実施。</p>	県土	B		
23	●「新たな観光資源」として、東環状大橋（仮称）の活用を図ります。	整備	完成			<p>＜H23取組内容と進捗状況＞</p> <p>阿波しらさぎ大橋（仮称・東環状大橋）の整備に合わせて当橋梁を中心とした周遊コースの案内板や距離標、ベンチを製作。</p> <p>＜現状での達成見込み＞◎</p> <p>＜課題＞</p> <p>案内板等の設置、県内外へのPRの実施。</p>	<p>・周遊コース案内板等の設置</p> <p>・ホームページによる情報発信等</p>	県土	A		
	○東環状大橋（仮称）を中心とした周遊コース案内板等の整備 [24]完成		完成		整備						

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
24	●高架下等道路空間や道路予定地を、まちづくりや賑わいの観点から、有効活用を図ります。	検討	推進	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 徳島環状線（国府工区）において、道路空間利用計画検討会を設置し、利用計画策定に着手。</p> <p>2 徳島市勝占町の道路予定地において、占用希望に対し公募により占用者を選定し、H24から占用開始。</p>	<p>・徳島環状線（国府工区）における利用計画策定及び占用開始</p> <p>・徳島環状線（末広住吉工区）の高架下の利用計画策定</p> <p>・道路整備の際に生じた未利用地について地元町内会等に対して防災倉庫の設置場所としての活用を照会</p>	県土	B	
	○高架下等利用計画策定・実施 [21] → [26]5箇所		1箇所	3箇所	5箇所	—	<p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt; 占用箇所の選定方法（課題把握の方法） 関係機関等との調整</p>				
25	7 都市部における渋滞対策の推進 ●都市部の慢性的な渋滞を解消するため、徳島市中心部とその周辺地域における放射環状道路の整備を推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>・徳島南環状道路の工事促進</p> <p>・徳島環状線の工事促進</p> <p>・上八万バイパスの工事促進</p>	<p>・徳島南環状道路の工事促進</p> <p>H24.7.8 側道部供用予定 (国道55号～県道宮倉徳島線間1.1km)</p> <p>H26 一部暫定供用予定 (県道宮倉徳島線～国道438号間2.2km)</p>	県土	B	
	○放射道路（延長23.2km）の供用率（暫定含む） [21]86%（供用延長19.8km） →[26]89%（供用延長20.6km）	86%	86%	86%	89%	86%	<p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p>	<p>・徳島環状線 阿波しらさぎ大橋、川内 工区等の供用（H24.4.25 L=3.7km）</p> <p>・徳島環状線 新浜八万工区、国府藍住 工区、末広住吉工区の工事・用地促進</p> <p>・上八万バイパスの工事・用地促進</p>			
	○外環状道路（延長35.0km）の供用率（暫定含む） [21]49%（供用延長17.2km） →[26]77%（供用延長26.8km） [24]徳島環状線（東環状大橋1.3km、末広住吉工区取合部0.4km）の供用 [24]徳島環状線（川内工区3.3km）の供用 [26]徳島南環状道路（9.5km）の一部供用	58%	67%	67%	77%	58%	<p>&lt;課題&gt; 徳島南環状道路（9.5km）のH26年度一部暫定供用に向けた進行管理、用地促進及び事業費確保 (課題把握の方法) 事業者との情報交換</p>				
26	●渋滞の著しい交差点の緩和・解消に努めます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>・徳島南環状道路の工事促進</p> <p>・徳島環状線の工事促進</p>	<p>・徳島南環状道路の工事促進</p> <p>H24.7.8 側道部供用予定 (国道55号～県道宮倉徳島線間1.1km)</p> <p>H26 一部暫定供用予定 (県道宮倉徳島線～国道438号間2.2km)</p>	県土	A	
	○主要幹線道路等における渋滞交差点の箇所数 [21]12箇所→[26]2箇所	5箇所	4箇所	3箇所	2箇所	5箇所	<p>&lt;課題&gt; 徳島南環状道路（9.5km）のH26年度一部暫定供用に向けた進行管理、用地促進 (課題把握の方法) 事業者との情報交換</p>	<p>・徳島環状線 阿波しらさぎ大橋、川内 工区等の供用（H24.4.25 L=3.7km）</p> <p>・徳島環状線 新浜八万工区、国府藍住 工区、末広住吉工区の工事・用地促進</p>			

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
27	●踏切の除去により、道路交通の円滑化が図られる鉄道高架事業を、徳島市が実施するまちづくりと一体となって推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            鉄道高架の事業計画素案の取りまとめに向け、JR四国や徳島市などの関係機関と協議を実施するとともに、都市計画決定に必要な調査や設計を実施した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;            事業計画の概要等を示す計画素案の合意、公表            (課題把握の方法)            計画素案の合意に向けた関係機関との協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度の都市計画決定に向け、事業計画素案の公表や都市計画決定に必要な残る調査や設計を実施。</li> </ul>	県土	B	
	○鉄道高架事業の推進 [26]都市計画決定					都市計画決定					
28	8 e-とくしま推進プランの推進 ●「e-とくしま推進プラン」について、「e-とくしま推進会議」において適切に進行管理するとともに、「(財)e-とくしま推進財団」において具体的な課題に取り組むなど、官民一体となって着実にプランを推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            1 本県における地域情報課指針「e-とくしま推進プラン」(平成16年3月策定、平成23年3月改定)について、「e-とくしま推進会議」を開催し、協働目標の進捗状況について確認を行うなど、進行管理を図った。            2 全26の「協働目標」のうち、青信号(初年度としては順調に進捗しているもの)が25項目、黄信号(進捗が低調であるもの)が1項目であった。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;            推進プランの計画期間は、H16~H25であり、「協働目標」について、残り2年間で達成しなければならない。            (課題把握の方法)            「e-とくしま推進会議」や「各WG(6分野)」により、進捗状況など課題を把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成が難しい「協働目標」への対策を講じる。</li> <li>e-とくしま推進財団やNPO等との連携を密にしながら、情報交換や事業の支援等を行う。</li> </ul>	政策	B	
	○「(財)e-とくしま推進財団」を活用した産学官地域連携事業数(累計) [21]48事業→[26]90事業	60事業	70事業	80事業	90事業	96事業					
29	●「全県CATV*網構想」で整備したブロードバンド*基盤の利活用を促進し、多様化・大容量化するコンテンツをスムーズに通信できるFTTH*サービスの普及促進に努めます。	利活用の促進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            1 安定的なサービス提供及び住民サービス向上のため、CATV網を整備した市町に整備費に係る起債元利償還金の一部を補助し、財政面から支援。            2 ICT(愛して)とくしまフォーラムを開催し、全県にCATV網が整備され、ブロードバンドサービスが利用可能であることをPR。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;            情報リテラシーの不足のため、FTTHサービスを利用しない世帯の存在            (課題把握の方法)            サービスを提供する電気通信事業者に対して状況をヒアリングし、普及促進に係る課題を把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス未利用者の意向の把握</li> <li>未利用者に対しFTTHサービス利用によるメリットをPR</li> </ul>	政策	B	
	○FTTHサービスの世帯普及率 [21]32.3%→[26]40.0%	34.0%	36.0%	38.0%	40.0%	43.1%					
30	●クラウドコンピューティング技術*を活用することで、県と市町村が業務システムを低廉かつ効率的に利用できる環境を構築し、県民サービスの向上につなげます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;            1 自治体クラウド利用団体へのヒアリング結果を踏まえ、機能改善を実施。            2 自治体クラウド未利用団体に対しクラウド活用による業務効率化やコスト削減効果などをPR。            3 徳島市、牟岐町のHPを自治体クラウド(JoruriCMS)に移行。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;            既存システムの残リース期間などの理由により利用開始が進まない            (課題把握の方法)            未利用団体に対して状況をヒアリングし、利用開始見通しを把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス改善要望の把握および改善方法の提案・実施</li> <li>未利用団体に対しクラウド利用によるメリットをPR</li> </ul>	政策	A	
	○自治体クラウド*利用市町村数 [21] - →[26]全市町村	10市町村	15市町村	20市町村	24市町村	16市町村					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
31	●ICT*を活用した地域活性化をプロデュースできる人材を育成するため、「NPO*等への事業化支援」や「自治体・NPO職員へ技術支援」の体制を整備し、地域のICT利活用技術の向上を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 e-とくしま推進財団と協力し、「NPO等への事業化支援」や「自治体・NPO職員へ技術支援」の体制を整備した。</p> <p>2 新しい地域雇用の創出につながるテレワークの育成等を目的とし、特定非営利活動法人ジェイシーアイ・テレワークズ・ネットワークと県が協働で取り組むため「徳島県新しい公共の場づくりモデル事業」の申請手続きの指導等を行った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;事業実施計画に基づく進捗状況等の確認が随時必要。</p>	・事業実施にあたっての指導及び助言等を行う。	政策	B	
	○新たな支援体制の整備 [23]整備	整備	推進	→	→	整備					
32	●ICTを活用し、地域の特性を活かした情報発信に関するコンテストを開催し、県内コンテンツ産業振興につながる、優秀な人材を発掘育成するとともに、優秀なクリエイターの情報を発信することで、デジタルコンテンツ*についての普及啓発を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 ICTとくしま大賞の実施について、HP、メディア、SNS、訪問等により、県内クリエイターや学生に広く周知（募集作品数：94点）</p> <p>2 大賞・特別賞受賞作品をコンテンツの総合見本市「クリエイティブマーケット東京2011」に出品し、優秀なクリエイターの情報を発信</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;クリエイターのスキルアップ・ビジネス化に向けた支援が必要（課題把握の方法） クリエイター等にニーズ調査</p>	・ICT版おためし発注を実施し、ビジネスチャンスを提供	政策	A	ICTとくしま大賞の創設及び応募者数が目標を達成しており、また、ICT版おためし発注を実施し、ビジネスチャンスを提供することにより、クリエイターの育成に繋がると判断し、A評価とした。
	○ICTとくしま大賞の創設 [23]創設	創設				創設					
	○ICTとくしま大賞応募数 [21] - →[26]100件	30件	50件	70件	100件	94件					
33	9 県民のICT利活用能力の向上に資する人材育成 ●市町村やNPO法人等と連携しながら、県民のICT利活用能力の向上に資する人材育成を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>シルバー大学校大学院においてICT講座を4講座開講し、シニアITアドバイザーの資格取得等のための講義を行った。</p> <p>その結果、78人がシニアITアドバイザー3級の資格を取得した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;シニアITアドバイザーとしての活躍の場の創設</p>	・ICT講座の継続 ・「シニア応援サイト」を活用した活躍の場の創設	保健	B	
	○シニアITアドバイザー取得者数（累計） [21]276人→[26]650人	430人	500人	580人	650人	431人					
34	●自治体職員等を対象とした人材育成研修を実施し、組織における持続可能なICTの活用・推進を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 第1回徳島県・市町村情報化推進協議会総会の開催時に「被災者支援システム」のシステム研修会を実施（市町村職員 33人受講）</p> <p>2 電子申請システム様式作成研修（市町村職員 7人）</p> <p>3 電子申請システム管理者研修（市町村職員 10人）</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;研修内容の充実（課題把握の方法） 市町村にアンケートを実施するなど研修内容に関するニーズを調査</p>	・市町村のニーズに合わせた人材育成研修メニューの検討 ・地方自治情報センターなどの講師派遣サービスの活用による研修内容の充実	政策	A	
	○人材育成研修参加人数（累計） [21] - →[26]48人	12人	24人	36人	48人	50人					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
35	10 電子自治体の構築 ●県と市町村が共同で、ICTを活用した行政手続のオンライン化や事務の効率化、迅速化を図る「電子自治体」を構築します。	推進	→	→	→	3,920件	<p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>(電子申請・届出システム)</p> <p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>電子署名不要な簡易申請(研修会、講習会等への参加申し込み等)に重点をおいて新規手続きを作成ほぼ年度計画値を達成</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>利用部局に偏りがある</p> <p>(電子入札システム)</p> <p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>電子入札システム未導入の市町村に対し周知を図り、6市が共同運用を開始しており、H23年10月よりさらに1市が試行運用を開始した。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>未導入市町村への更なる周知。</p>	<p>(電子申請・届出システム)</p> <p>・ボランティアやイベントへの申し込み等の新たな需要を掘り起こす。</p> <p>(電子入札システム)</p> <p>・未導入の市町村に対して、個別に説明を行い周知に努める。</p>	経営・県土	B	
	○電子申請・届出システムの利用件数 [21]2,574件→[26]7,000件	4,000件	5,000件	6,000件	7,000件						
	○電子入札システムの市町村との共同運用 [21]6市→[26]12市町村	6市町村	7市町村	9市町村	12市町村	6市町村					
36	●工事や委託業務の成果品等の電子納品を推進し、業務の効率化を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>土木工事について、H23年10月より写真の電子納品を必須、H24年4月より完全実施することとしており、講習会・相談会等を通じて一層の周知を図った。また、電子納品された成果品の職員間での共有化を図った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>受注者の電子納品への習熟。</p>	<p>・電子納品に不慣れな受注者に対して個別相談会を実施し、スキルアップを図る。</p>	県土	B	
37	11 ICTを活用した「みちづくり」 ●ICTを活用することにより、道路利用者の利便性向上や道路管理の効率化を図ります。	推進	→	→	→	調査	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>・先進地事例の情報収集</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>関係市町村、団体等との調整方法(課題把握の方法)</p> <p>先進地の事例等の整理</p>	<p>・システム構築へ向けた準備</p>	県土	B	
	○観光地等における歩行者移動支援システムの構築地域数 [21] - →[26]2地域			1地域	2地域						

1-2 観光立県とくしまづくり

38	1 観光立県とくしまの実現 ●「徳島県観光振興基本計画」に基づき、官民一体となって観光振興の取組を推進し、「観光立県とくしま」の実現を目指します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>・「徳島県観光振興基本計画」に基づき、官民一体となって観光振興に関する各種取組を実施した。(取組は次のとおり)</p> <p>①徳島ならではの「マチ☆アソビ」や「とくしまマラソン」の実施による誘客促進</p> <p>②本県の持つ豊かな自然や食材を利用した教育旅行の受入、誘致。</p> <p>③各種イベントの充実・強化による誘客推進。</p> <p>④SA等での観光情報発信の強化</p> <p>⑤新たな着地型商品開発への取組</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>・本県の観光を取り巻く環境の変化に迅速に対応する必要がある。</p>	<p>・引き続き推進する。</p>	商工	B	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
39	●徳島ならではの魅力あるイベントの実施、教育旅行をはじめとする体験型観光を推進することなどにより、国内外への情報発信を強化し、県民一人当たりの宿泊者数の増を目指します。	推進	→	→	→	／	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳島ならではの「マチ☆アソビ」や「とくしまマラソン」を実施し、誘客を図った。</li> <li>・ 本県の持つ豊かな自然や食材などを利用し、県南・県西の推進団体とともに教育旅行の誘致・受入に積極的に取り組んだ。</li> <li>・ 各種イベントを充実・強化し、さらなる観光誘客を推進した。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>体験型教育先進地としてのブランド化を図るため、推進組織の体制整備と受入家庭の拡大 ※23年度実績は24年10月頃判明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント内容の充実と定着を図る。</li> <li>・ 「全国ほんもの体験フォーラム」を開催することにより、体験型観光の先進地としてのブランドを確立し、さらなる発展を目指す。</li> </ul>	商工	B	
	○人口一人当たりの宿泊者数 [21]1.51人 全国41位→[26]全国20位台へ					全国 20位 台へ					
40	●高速道路新料金制度導入を最大限に活用し、県外からの観光入込客数の増加を図るため、マイカーを利用して来県する観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランの提案など、観光誘客対策を推進します。	推進	→	→	→	／	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SA等での観光情報発信に努めるとともに、新たな着地型商品の開発に取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>県内で宿泊してもらうためには、新たな観光資源の開発や既存の観光資源のブラッシュアップが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、新たな着地型商品の開発と情報発信に取り組む。</li> </ul>	商工	B	平成23年度の取組がサービスエリアでの情報発信となっており、今後も引き続き行うこととしているが、何らかの工夫が必要であると考え、B評価とした。
	○年間の延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人	133 万人	138 万人	143 万人	148 万人	141万人					
41	2 「観光とくしまブランド」の確立 ●徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として確立し、多くの観光客に選ばれる徳島を目指して、「きて・みて・なっとく！おいでよ徳島。」をキャッチコピーに、「庶民遺産」、「自然一番」というブランドイメージを広くPRするとともに、マスメディア等を活用した広告宣伝を実施することにより、広く国内外に向けた認知度の向上を図ります。	推進	→	→	→	／	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの観光客に選ばれる徳島を目指して、「きて・みて・なっとく！おいでよ徳島。」のキャッチコピーとともに、「庶民遺産」「自然一番」というブランドイメージを広くPRし、マスメディア等を活用した広告宣伝を実施した。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>情報発信ツールが多様化する中で、高機能携帯端末への対応（課題把握の方法） 先進事例の調査、観光関係団体との意見交換を実施 ※23年度の外国人入込客数は10月頃判明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳島の知名度の向上とブランドイメージ確立のため、マスメディア等を活用した宣伝活動を進めるとともに、新たなツールに対応した情報発信に取り組む。</li> </ul>	商工	B	「庶民遺産」や「自然一番」の具体的なイメージがはっきりしない。PR不足かと思うが、徳島県のどのような「場所」がこのイメージなのか、また、イメージを代表するコースがあるのか、ピンとこない。PR等の取組が必要と判断し、B評価とした。
	○外国人入込客数 [21]15,034人→[26]33,000人	20,00 0人	24,00 0人	28,00 0人	33,00 0人	—					
	○「阿波ナビ」アクセス件数 [21]45万件→[26]50万件	47万 件	48万 件	49万 件	50万 件	53万件					
42	●阿波おどりを活用した観光振興を図るとともに、その魅力を国内外へ発信します。	推進	→	→	→	／	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「夏の阿波おどり」はもとより、「春の阿波おどり」として県外に発信できる「はな・はる・フェスタ」に支援するとともに、秋の阿波おどりとして「萬の民の阿波おどり」を国内外に発信し、観光誘客につなげた。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>年間を通じた活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県を代表する観光資源であることから、引き続き、広く国内外に発信するとともに、積極的に活用して本県のイメージアップ、観光振興につなげていく。</li> </ul>	商工	B	
43	●映像を通じて徳島の魅力を発信するため、徳島を舞台にした映画やドラマ等のロケを誘致・支援します。	推進	→	→	→	／	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 的確な情報提供と迅速な対応により、映画、テレビ、CMなどの県内ロケの支援・誘致を行った。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ロケ地として活用できる素材や情報を収集できる体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロケの誘致・支援により、映画・ドラマ・CMなどが放送されることにより、本県の認知度やイメージアップに非常に効果的であることから、引き続き積極的な支援を行って行きたい。</li> </ul>	商工	B	
	○ロケ支援件数（累計） [21]179件→[26]290件	222件	244件	267件	290件	221件					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 （23年度）	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 （箇条書き）	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
44	●豊かな農林水産資源等を活用した徳島ならではの魅力的で売れる県産品の情報発信を行うとともに、コンビニエンスストアをはじめとする販売・流通事業者への販路開拓を支援し、県産品の販路拡大を通じて徳島の魅力を発信します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケット・トレードショー（東京ビッグサイト）、フードテック2011（インテックス大阪）などの見本市へ参加・出店した。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県として一体的に取り組むための関係機関の連携</li> </ul>	・引き続き、県産品の情報発信、販路開拓を支援する。	商工	B	
46	●県内で開催されるイベントの情報等を、県民や全国へ効果的に発信するため道路情報板にイベント情報等を表示します。	実施	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光地等までの距離表示（31回）</li> <li>2 とくしまマラソン（14回）</li> <li>3 地下足袋王子杯つるぎトレイルランニングレースin那賀2011（11回）</li> <li>4 「四国の右下」ロードライド2011（7回）</li> <li>5 自転車王国とくしまツール・ド・にし阿波（6回）</li> <li>6 阿波踊り（3回）</li> <li>7 全国小学生雪合戦大会（2回）</li> </ol> <p>上記のイベント等の情報を道路情報板で表示した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>効果の検証</p>	・H24は「第27回国民文化祭・とくしま2012」のPRを県内各地の道路情報板で行う。	県土	B	
	○イベント情報の表示回数 [21]55回→[26]75回	60回	65回	70回	75回	74回					
48	●外国人向けの観光案内所の運営による情報提供や県内での通訳確保対策など、外国人観光客の受入態勢の充実を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流協会に委託し外国人向けの観光案内・情報提供に積極的に取り組むとともに、通訳ボランティア研修会や医療通訳向けの研修会を開催、多言語表記看板の設置など、外国人観光客の受入態勢の強化を図った。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>通訳の確保対策 （課題把握の方法） 通訳人材の人数確認を行い、課題の把握を行った。</p>	・新たな通訳人材の育成	商工	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
49	●観光地の魅力を向上させるため、主要幹線道路の整備によるアクセス向上に加え、観光客が安心して楽しく訪問できる案内標識の整備・多言語表記等、観光地の魅力を向上させる新たな施策を推進します。	推進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・観光地等への案内標識として7路線、10基を設置。 ・案内標識の多言語表記として、新たに1地域で設置。 ・アクセスルートは、1箇所完成。 ・木製ガードレール等は、「遍路道」や「道の駅」の周辺を中心に5路線、420mを設置。 ・本州四国連絡道路において、「渦潮シンボルマーク」入りの案内標識を設置した。 ・「道の駅」については、箇所選定を行った。 ・松茂スマートICの実施計画書策定及び連結許可申請  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 新たな整備箇所の選定方法、H26年度供用に向けた進行管理（課題把握の方法）関係市町村等との調整、事業者との情報交換	・鳴門市に出向き、意向を確認する。（地元が積極的に動かない限り名称変更は難しい。） ・「道の駅」については、箇所選定を行った場所について、概略検討を行う。 ・松茂スマートICのH26年度高速道路本線との同時供用 ・引き続き、観光地の魅力を向上させる取組を推進する。	県土	A	
	○観光地等への案内標識の設置基数 [21] ー → [26] 40基	10基	20基	30基	40基	10基					
	○案内標識の多言語表記への変更済地域数 [21] ー → [26] 8地域	2地域	4地域	6地域	8地域	4地域					
	○にし阿波観光圏でのアクセスルートにおける整備箇所数 [21] ー → [26] 8箇所	1箇所	3箇所	5箇所	8箇所	1箇所					
	○木製（間伐材）ガードレール等の設置延長（再掲） [21] 4,743m → [26] 7,000m	5,500m	6,000m	6,500m	7,000m	5,673m					
	○本四道路「鳴門北IC」の観光誘客を図られる名称への変更 [26] 名称変更				名称変更	「渦潮のシンボルマーク」入り案内標識の設置					
	○産直市等と連携した「道の駅」の整備箇所数 [21] ー → [26] 4箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	1箇所					
○高速道路PAの「スマートIC」設置箇所数 [21] 1箇所 → [26] 3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	1箇所						
50	●歩き遍路などの歩行者に対して快適な歩行空間を確保するため、民間活力を導入した「いやし・もてなし」施設（椅子、休憩小屋、案内板等）の整備を推進します。	推進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・一般国道438号（神山町）で休憩小屋を設置  <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b>  <b>&lt;課題&gt;</b> 新たな整備箇所の選定方法（課題把握の方法）関係市町村等との調整	・引き続き、他路線での「いやし・もてなし施設」の整備を検討する。	県土	B	
	4 広域観光の推進 ●国内外からの観光誘客の促進を図るため、関西広域連合*や四国ツーリズム創造機構の一員として、近隣府県等と連携したプロモーション活動などを積極的に展開し、広域観光・交流を推進します。	推進	→	→	→						
51	4 広域観光の推進 ●国内外からの観光誘客の促進を図るため、関西広域連合*や四国ツーリズム創造機構の一員として、近隣府県等と連携したプロモーション活動などを積極的に展開し、広域観光・交流を推進します。	推進	→	→	→		<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・「関西観光・文化振興計画」の策定 ・広域観光ルートの設定 ・海外トッププロモーション（北京・上海）の実施 ・中国観光大臣との「要人会見・観光フォーラム」の開催など、関西観光地の「安全・安心性」や関西と四国の結節点である「本県の魅力」を強くPRし、本県はもとより関西への誘客を促進した。 <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b> <b>&lt;課題&gt;</b> 新たに制定した「関西観光・文化振興計画」の普及・促進を図る必要がある。（課題把握の方法） 関西全域を対象とした観光統計調査の実施  ※23年度実績は10月頃判明	・KANSAI観光大使の任命と活用 ・ITを活用した観光ルートのPR	商工	B	
	○外国人入込客数（再掲） [21] 15,034人 → [26] 33,000人	20,000人	24,000人	28,000人	33,000人	ー					



番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 （23年 度）	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 （箇条書き）	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
54	●本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、県南や県西における教育旅行の受入拡大を支援することで、県民参加型の観光客誘致を推進します。	推進	→	→	→	16,685泊	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> ・本県の持つ豊かな自然や食材などを利用し、県南・県西の推進団体とともに教育旅行の誘致・受入に積極的に取り組んだ。 ・県のホームページでのPRを行った。 <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b> <b>&lt;課題&gt;</b> 受入家庭拡大に向け、更なる取組が必要 （課題把握の方法） 先進事例の調査、推進団体との意見交換により把握した	・「全国ほんもの体験フォーラム」を開催することにより、体験型観光の先進地としてのブランドを確立し、さらなる発展を目指す。 ・県のホームページでのPR	商工・農林	A	
	○体験型教育旅行における協議会受入泊数（累計） [21]6,181泊→[26]29,700泊	15,600泊	20,300泊	25,000泊	29,700泊						
	○グリーン（ブルー）・ツーリズムインストラクター数（累計） [21]32人→[26]37人	34人	35人	36人	37人						
55	●四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズム*を推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。	推進	→	→	→	14軒	<b>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</b> 1 県のホームページでのPR 2 四国四県で作成したリーフレットによるPR、キャンペーンの実施 3 「水都おおさか森の市」のイベントでPR 上記の取組により達成に近づいた <b>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</b> <b>&lt;課題&gt;</b> 特になし （課題把握の方法）関係機関との協議により整理する	・県のホームページでのPR ・四国四県で作成したリーフレットによるPR、キャンペーンの実施 ・「水都おおさか森の市」のイベントに参加しPRする	農林	B	
	○とくしま農林漁家民宿*数（累計） [21]5軒 →[26]15軒	9軒	10軒	13軒	15軒						

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
56	●県南部圏域において、地域住民との協働による環境保全活動と連携した、新たな観光スポットの整備を行います。	推進	→	→	→		千年サンゴ ＜H23取組内容と進捗状況＞ 地元町（牟岐町）及び関係団体と連携し「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」を設立し下記の活動を行った。 1 保全活動（4回） 2 タウンミーティング実施（2回） 上記の取組により貴重な自然財産の保護活動を実施するとともに、継続的なサンゴ保全についての検討を行った。 ＜現状での達成見込み＞◎ ＜課題＞ （課題：継続的な保護活動体制構築が必要） （課題把握の方法：タウンミーティングでの意見）	千年サンゴ ・継続して保全活動を実施する。 ・「千年サンゴ」のPRを積極的に行い、協力者を増やしていく。	南部	B	
	○新たな観光スポットの整備箇所 [23]～[25]2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所		南つるぎ ＜H23取組内容と進捗状況＞ （取組内容） 地元ボランティアの協力を得ながら登山道の整備活動を行う。 （進捗状況） 登山道の整備を目的としたエコツアーを4回開催した結果、154名の参加者を集めるなど、新たな観光スポットの整備を進めているところ。 ＜現状での達成見込み＞◎ ＜課題＞ 自然を対象とした事業のため、気象災害や天候によって進捗状況が大きく左右される。	南つるぎ ・保全活動 ・エコツアーの実施 ・シンポジウムの開催 ・啓発を目的とするイベントの開催	南部	B	
57	●県南部圏域の団体や行政が一体となった地域主導型の連携組織を構築し、圏域の海・山などの自然環境や豊富な食材、伝統文化や人的資源を活用したイベント等を開催し地域ブランド力の向上と交流人口の増大を図ります。	推進	→	→	→		＜H23取組内容と進捗状況＞ （取組内容） 豊かな自然、豊富な食材、伝統文化の紹介のための食博覧会を開催するとともに、豊かな自然を体感してもらうためのスポーツイベント、ヒューマンパワードゲームズへの参加者を増やす。 （進捗状況） ・H23年12月3日、4日食博覧会を開催（入場者数約19,000人） ・ヒューマンパワードゲームズを積極的に支援、広報するとともに、新規イベント「四国の右下」ロードライド2011をH23年7月10日に開催するなど参加者増に努めた結果、参加者数5,160名を記録した。 ＜現状での達成見込み＞◎ ＜課題＞ 屋外イベントが中心のため、天候により参加者数等が大きく左右される。	・食博覧会の開催 ・ヒューマンパワードゲームズの魅力向上 ・ヒューマンパワードゲームズの積極的な支援及び広報	南部	A	県南部地域の豊かな自然、豊富な食材、伝統文化の紹介を行う食博覧会の開催や豊かな自然を体感するスポーツイベント等を官民が連携して行っており、効果を上げている。
	○四国の右下食博覧会（仮称）の開催 [23]～[26]年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催			南部	A	
	○ヒューマンパワードゲームズ*の参加者数 [21]3,300人→[26]6,000人	3,500人	4,000人	5,000人	6,000人	5,160人			南部	A	
58	●県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波観光圏」のPRや観光案内の向上などに取り組み、観光素材と市場を結ぶ「観光地域づくりプラットフォーム*」の支援により、観光客の来訪滞在を促進します。	推進	→	→	→		＜H23取組内容と進捗状況＞ 1にし阿波観光圏協議会による官民一体となった観光PR等の実施 2観光地域づくりプラットフォーム「一般社団法人そらの郷」を支援 体験型教育旅行受入校数「22年度12校→23年度21校」 3地域観光ブランドの開発に向けた官民連携による検討会を実施 大歩危・祖谷地区のキャッチコピー「千年のかくれんぼ」を作成 4広域的な観光圏事業に対する財政的支援 ＜現状での達成見込み＞◎ ＜課題＞ 誘客滞在促進には外国人誘客や魅力ある観光まちづくりが必要 （課題把握の方法） 官民連携による検討会による地域分析	・課題に応じた観光圏事業の実施 ・検討会等の実施による地域分析 ・新たな観光圏整備計画の策定	西部	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
59	●県西部圏域において、上質な古民家ステイ、地域の食材を利用した料理の提供など、大人が満足する滞在体験型の観光まちづくりを推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 祖谷平家伝説ガイドツアーなどの着地型旅行商品の開発 2 古民家ステイ施設の整備 4戸（三好市事業, 24年度開業）</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt; ◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>（課題：滞在体験型推進のため、旅行商品の提供者と市場を繋ぐ観光地域づくりプラットフォーム事業体制の充実が必要） （課題把握の方法：官民連携による検討会による地域分析）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな着地型旅行商品の開発</li> <li>古民家ステイ施設魅力向上の取組</li> <li>観光地域づくりプラットフォームの充実</li> </ul>	西部	A	
	○古民家ステイ施設の開業戸数 [21] → [26]8戸	2戸	4戸	6戸	8戸	0戸					
60	●にし阿波の自然豊かな魅力ある風景を「にし阿波おすすめビューポイント」として選定・PRし、来訪滞在を促進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 ビューポイントを計104か所選定した。 2 ビューポイントのパンフレットを20,000部作成し、約13,000部を県内観光施設等へ配布した。 3 ビューポイントのパネル写真を作成し、あすたむらんど等でパネル展を開催した。（4回） 4 「にし阿波」を観光するためのモデルコースとなる周遊コースを策定（4コース）した。 5 ビューポイントを紹介するHPを日・英・中国語で作成した。 6 日本語版のHPで、ビューポイントを動画により紹介した。 上記取組により、「にし阿波」に関する問い合わせが増えた。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>取組の効果を把握するために、「にし阿波」観光の知名度や満足度を知る必要がある （課題把握の方法）これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「にし阿波」の入口である美馬市脇町の観光施設で行っているパネル展を拠点に、見学者へのアンケート実施。</li> <li>モデルコースとなる周遊コースを、テーマを絞って順次増やしていく。</li> <li>新たな来訪者を呼び込むため、パネル展の開催回数や場所を増やしたり開催方法も工夫する。</li> </ul>	西部	A	「にし阿波おすすめビューポイント」の選定については、ビューポイントの選定、パンフレットの作成、動画配信と様々な取組を行い、今後の取組においてもアンケートの実施や新たな周遊コースの選定などを行うこととしており、今後の取組に期待がもてることから、A評価とした。

### 1-3 国際交流立県とくしまづくり

61	1 国際交流の推進 ●ドイツ・ニーダーザクセン州との経済、文化、教育、スポーツ等の交流を通じ、両国に共通する課題の解決などに取り組めます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日独交流150周年記念イベント「ドイツフェスティバル」に出展（都内）</li> <li>「俳句ワークショップ」の開催による文化交流（ドイツ）</li> <li>シェーラベルク職業学校生徒等が来県</li> <li>県スポーツ関係訪問団の派遣・高齢化に関する国際シンポジウムの開催など、両県州間の友好交流が図られた。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>「共同宣言」に基づいた交流を進める必要がある。 （課題把握の方法）ニーダーザクセン州との緊密な連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友好交流提携5周年」を迎え、これまで積み重ねてきた4年間を踏まえ、「経済効果」につながら、県民や若者が夢と希望を帯びる「実のある交流」を推進。</li> <li>日独セミナーの開催</li> <li>マラソンによるスポーツ交流</li> <li>合唱による文化交流</li> <li>国民文化祭に文化団体を招へい</li> </ul>	商工	A	
	○ドイツ・ニーダーザクセン州との新たな交流 [23]日独交流150周年記念事業 [23]少子高齢化シンポジウムの開催	記念事業・シンポジウム開催				記念事業・シンポジウム開催					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
62	●中国・湖南省との友好提携を視野に入れ、経済、観光、環境、文化、教育、医療、スポーツ等の各分野における積極的な交流と相互協力を推進し、交流人口の増加や地域の振興・活性化を図ります。	提携・推進	推進	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>10月24日、「徳島県と湖南省の友好交流に関する協定書」の調印式が「新日中友好・21世紀委員会」日中両座長、周強中国共産党・湖南省書記の立会いのもと、日中両国の「国家外交行事」として実施された。</p> <p>【経済・観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友好提携」の象徴として、徳島ー長沙間の「定期チャーター便」が就航</li> </ul> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「徳島工業短期大学と婁底職業技術学院」の学術交流協定</li> <li>・「四国大学と湘潭大学」の学術交流協定</li> <li>・城ノ内中学校と長沙市第一中学校との間でインターネットを活用したテレビ会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年10月24日に締結した「友好提携」を踏まえ、様々な分野で「実のある交流」を推進し、日中両国の課題解決を手助けする「地方外交」を展開。</li> <li>・マラソンによるスポーツ交流</li> <li>・第7回中国中部投資貿易博覧会に出展</li> <li>・国民文化祭に湖南省民族舞踊団を招聘</li> <li>・徳島ウィーク in 湖南の開催</li> </ul>	商工	A		
	○中国・湖南省との友好提携 [23]提携	提携				<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中両国で国家レベルの糖尿病研究に取り組む「徳島大学と中南大学」が新たに学術交流協定を締結することで「基本合意」</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>一時運航休止した定期チャーター便の再開を図るとともに、「実のある交流」をさらに広げていく必要がある。 (課題把握の方法) 湖南省からの来県者数を把握)</p>					
63	●ブラジル・サンパウロ州に在住する本県出身者との文化交流などを通じ、同州との交流を進めます。	推進	→	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンパウロ州の阿波おどり連である「レザ連」の来県を通じ、阿波おどりによる友好交流を図った。</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>交流の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、文化交流などを通じ、同州との交流を推進</li> </ul>	商工	B		
64	●成長著しい中国における本県企業の販路開拓及び本県への観光誘客を促進するため、「とくしま・中国グローバル戦略」に基づき、上海事務所を活用した中国市場の情報収集・提供や相談対応を行うとともに、商談機会の拡大や中国企業と本県企業との交流を推進します。(再掲)	推進	→	→	→	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とくしま経済飛躍サミットin上海の開催による情報発信</li> <li>・日中ものづくり商談会@上海2011への出展</li> <li>・徳島県・湖南省双方向チャーター便による徳島県湖南省訪問団の派遣</li> <li>・マチ☆アソビVOL.7への中国人ブロガー等の招聘</li> <li>・「インテリアライフスタイル・チャイナ」(上海市)への出展</li> <li>・湖南省と友好提携の締結</li> <li>・徳島県・湖南省の「国際定期チャーター便」の就航</li> <li>・四国4県共同中国バイヤー招聘商談会の開催</li> <li>・日中国交正常化40周年記念事業「元気な日本展示会」in上海への出展</li> <li>・四国4県連携中国観光プロモーションの実施 等</li> </ul> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>中国をはじめ東アジアにおける県内企業の輸出振興を更に進める必要がある。 (課題把握の方法) 商談機会提供数の把握を行った。</p>	<p>湖南省との「実りのある交流」を通じて中国沿岸部に加え、内陸部の「成長力」を本県に取り組みとともに、「関西広域連合」や「四国4県」とも緊密に連携した効果的な施策展開を図る。</p>	商工	B		

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
65	2 国際化による多文化共生の推進 ●県内在住外国人との共生はもとより、来県する外国人の拡大を目指し、地域及び海外からの多様なニーズに対応するための国際的ワンストップ*情報発信拠点を創設し、県民・行政が一体となった事業を推進します。	検討	設置・推進	推進	→		<H23取組内容と進捗状況> 徳島県内の宿泊・観光施設、県内在住の外国人などを対象に、「多文化共生」や「国際交流」と言った分野はもとより、「販路開拓」や「観光インバウンド」の充実を図るためのニーズ調査を実施した。 <現状での達成見込み>○ <課題> 今後の方向性を決定していく必要がある。 (課題把握の方法) ニーズ調査を実施した。	・検討委員会を開催し、方向性を決定	商工	B	
	○「国際交流戦略センター（仮称）」の設置 [24]設置・推進		設置・推進			-					
66	●在住外国人の生活支援や、来県された外国人の相談に対応するため、相談窓口の充実や、生活支援講座の開設、市町村と連携した多言語による情報提供等を行います。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> ・徳島県国際交流プラザに多言語(英語・中国語)相談窓口を開設 ・在県外国人の日常生活を支援するため、生活上の基礎知識の提供や日本語指導等を行う生活支援講座を開設 ・在県外国人向けの多言語情報ガイドを各市町に配布するとともに、インターネットで行政情報、生活情報等を提供 などにより、多文化共生のまちづくりの推進が図られた。	今後とも引き続き、外国人が住みやすい「多文化共生のまちづくり」を推進 ・多言語(英語・中国語)相談窓口の開設 ・生活支援講座の開設 ・多言語情報ガイド等による情報提供	商工	B	
	○相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人人数 [21]3,623人→[26]8,000人	5,000人	6,000人	7,000人	8,000人	5,032人	<現状での達成見込み>○ <課題> 在県する外国人それぞれで求められるニーズや対応が異なること (課題把握の方法) 国際交流プラザが実施する生活支援サービスにより、ニーズ把握を行った。				

1-4 文化立県とくしまづくり

67	1 あわ文化の創造・発信 ●「徳島県文化振興基本方針」の推進を図ります。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 徳島県文化振興基本方針の3つの柱である「一人ひとりの感性を磨く」、「徳島ならではの文化を創る」、「文化の力を活用する」に基づき、「萬の民の阿波おどり」事業などの文化振興事業を実施した。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 文化振興による個性的で魅力的な地域づくりの推進。	・県民、文化団体、文化施設、教育機関、企業、市町村など一層連携し、多くの人を巻き込みながら進める。	県民	A	
68	●「文化立県とくしま推進基金」を進化させ、「あわ文化の創造・発信」をさらに推進します。	推進	→	→	→		<H23取組内容と進捗状況> 宝くじ収益金を活用し基金の拡大を行い、「あわ文化」の創造・発信をさらに支援することにより、「伝統芸能が息づくまちづくり」、「伝統工芸・産業で栄えるまちづくり」、「音楽文化が息づくまちづくり」を進めた。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 地域ならではの文化を活用したまちづくりの推進。	・基金を活用した事業を継続的に展開し、「文化の力によるまちづくり」を目指す。	県民	B	基金の拡大を目標とするものであり、その側面においては目標は達成しているが、「伝統芸能が息づくまちづくり」や「音楽文化が息づくまちづくり」についてははっきりしないことから、支援の効果が県民にわかるよう新たな指標を設定するなど工夫をいただきたいため、B評価とした。
	○「文化立県とくしま推進基金」の進化 [23]進化	進化				進化					
69	●鳥居龍蔵*博士に係る博物館や研究機関等と連携し、資料調査等を行い、ミュージアムネットワークを形成することにより、徳島独自のアジア学を発信します。	推進	→	情報発信	→		<H23取組内容と進捗状況> 資料調査・検討、企画展準備等を行った。 この取組により、国内外の博物館、研究機関との交流や連携を行うことができた。 <現状での達成見込み>◎ <課題> 国内外の7つの博物館・研究機関を目標とし、交流を一層深める。交流連携がなされた数を増やす。	ミュージアムネットワークの強化を今後一層図る。	教育	B	
	○連携機関数 [21]2機関→[26]7機関	3機関	5機関	5機関	7機関	3機関					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
70	●文化の森総合公園各施設が所蔵する資料のデジタルコンテンツ化を進め、県内外に情報発信します。	推進	→	→	→	99万点	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 各館において、データベースのデジタル化を行い、公開した。デジタル化した資料を公開できるよう作業を進めている。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○ &lt;課題&gt; 作業を行う予算、人員の確保。</p>	デジタル化資料を順次公開していく。	教育	B	
	○デジタルコンテンツ化資料数（累計） [21]17,555点→[26]830,000点	※80万点	※81万点	※82万点	※83万点						
71	●本県が全国に誇る伝統芸能の県外・海外公演を開催し、あわ文化の発信を行います。	推進	→	→	→	68回	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 阿波おどり63回、阿波人形浄瑠璃5回の県外・海外公演を実施し、本県が誇る伝統文化の魅力を国内外に発信した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 伝統文化を活用した交流人口の増。</p>	・国内外に向けた効果的な「あわ文化」の魅力発信を継続する。	県民	B	
	○伝統芸能県外・海外公演開催数 [23]～年間20回以上	年間20回以上	年間20回以上	年間20回以上	年間20回以上						
73	●徳島ならではの伝統を継承し、人材を育て、文化の力で地域を活性化させるために、「おどる国文祭」以降の取組の集大成として、集約型で質の高い国民文化祭を開催します。	準備	開催			準備	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 「第27回国民文化祭徳島県実行委員会」を設け、プレイベントの開催や文化情報紙「あわあ！発信伝」の発行等を行い、「あわ文化」の魅力発信と開催気運の醸成を図った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 集約型で質が高く、地域の魅力と活力の創造につながる国民文化祭の実施。 (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析している。</p>	・国民文化祭の開催を契機とし、「文化の力によるまちづくり」を進める。	県民	A	
	○「第27回国民文化祭（おどる国文祭5周年記念事業）」の開催 [24]開催		開催								
74	●阿波おどりの歴史と文化を再発見し、その奥深い魅力を県内外に発信するため、「萬の民の阿波おどりフェスティバル」を開催します。また、とくしま県民としての自信と誇りを持てるよう、幅広いワークショップ*に取り組み、伝統芸能が広がるまちづくりを推進します。	開催	推進	→	→	開催	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 「萬の民の阿波おどりフェスティバル」を開催し、阿波おどりの奥深い魅力を発信するとともに、県内各地に有名連を派遣する「萬の民の阿波おどりワークショップ」を実施し、延べ4千人が本格的な阿波おどりを体験した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 阿波おどりを活用したまちづくりの推進。</p>	・国民文化祭において、阿波おどりと海外（ドイツ、中国、韓国）の踊りが競演し、友好交流を深めるとともに、県民が伝統文化と地域とのつながりについて考える契機とする。	県民	B	
	○「萬の民の阿波おどりフェスティバル」の開催 [23]開催	開催									
75	●伝統産業で栄えるまちづくりを推進するため、「阿波藍×未来形プロジェクト」を継続実施します。	実施	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 藍染ファッションショーや藍Tコンテスト、阿波藍作品展、藍染体験教室などを一体的に開催する「阿波藍メッセ2011」を実施するとともに、海外から藍染作家を迎えた「阿波藍国際研修会2011」を開催し、阿波藍の魅力を発信した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 藍文化の継承・発展。 (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析している。</p>	・国民文化祭において、阿波藍の魅力を国内外に発信するとともに、阿波藍の新しい可能性を探る。	県民	B	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
76	2 史跡・文化財の活用 ●史跡と周辺の文化財をつなぎあわせて、各地の博物館・資料館等と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進めます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>2 文化遺産の保存・活用の担い手となる各地域のボランティア候補者を、国史跡の整備を進める市町村を中心に県内から募集し、実践的な内容の講座を実施</p> <p>3 平成23年度は埋蔵文化財センターで年間8回の講座を実施し、19名が修了</p> <p>4 修了生の人数は見込みよりも少ないが、各地の文化財保護・活用団体で活動している。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>日程等の関係で参加できない講座があり、修了できない受講生がいる（課題把握の方法）</p> <p>受講生が全講座受講し、修了できるよう、受講生の意見を聞いた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの養成については、関係市町村、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターとも協力していく。</li> <li>・修了生に地元の文化財保護・活用団体の活動での史跡案内やイベント企画などへの参加を促し、市町村と連携した取組を支援することにより、活動の充実を図る。</li> <li>・ボランティア修了生が地元で活躍できる場を提供するために、他事業との連携を強化する。</li> </ul>	教育	B	
	○文化財ボランティア養成人数（累計） [21]107人→[26]200人	145人	165人	185人	200人	144人					
77	●史跡・埋蔵文化財についての講演会を開催し、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進めます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 委託事業「発掘とくしま」での調査成果報告会や埋蔵文化財全般に関する講演会を実施。</p> <p>2 委託事業「発掘とくしま」での体験講座を、児童生徒や保護者を中心に実施した。</p> <p>3 中世城館跡最終調査報告会を実施</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>参加者のニーズにどのように対応していくか（課題把握の方法）</p> <p>開催地や参加者のアンケートの実施により把握した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、体験活動や見学会など、気軽に参加できる内容の講座を検討していく。</li> <li>・定員いっぱいの参加希望があったため、定員枠を広げる等についても、検討していく予定である。</li> <li>・実施内容について、参加者のニーズに応えるべく、工夫改善しながら取り組み、体験講座の参加者からの評価も良好である。</li> </ul>	教育	A	
	○「いにしえ夢街道」講演会参加人数（累計） [21] - →[26]600人	150人	300人	450人	600人	200人					
78	●史跡など歴史的景観を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 市町村への指導・支援</p> <p>2 文化庁と市町村との調整</p> <p>3 鶴林寺総合調査の実施</p> <p>4 近代和風建築総合調査の実施</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>国指定・選定・登録に向け具体的に取り組んでいる市町村への支援を強化する。新たな候補物件を洗い出す。（課題把握の方法）</p> <p>文化庁、市町村との連絡・協議により把握した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村への指導・支援を継続する。</li> <li>・文化庁と市町村との調整を円滑に進める</li> <li>・平成24年度まで実施する近代和風建築総合調査の結果を踏まえ、新たな登録有形文化財建造物を洗い出し、市町村を通して所有者に新規登録を働きかける。</li> </ul>	教育	B	
	○歴史的景観の国指定・選定数 [21]11件→[26]14件	12件	13件	13件	14件	12件					
	○登録有形文化財建造物の登録数 [22]80件→[26]120件	105件	110件	115件	120件	100件					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
79	●「いにしえ夢街道」の活用ゾーンを県南・県西部へ拡大し、ウォーキングや講演会などの文化財活用事業を展開します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>2 平成22年度までに、国指定史跡を中心とする4か所のゾーン化をはかることができた。</p> <p>3 平成23年度は、新たなゾーンとして、県西部では丹田古墳を中心とした講演会や現地説明会を、県南部では阿南市の遍路道（太龍寺道、かも道）でのウォーキングやミニ座談会を実施し、ゾーン化に向けての準備を行ってきた。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>文化財を活かした地域づくりについて、市町村や各地域のニーズにどのように対応していくか (課題把握の方法) 市町村の意見や、アンケート等での結果により把握した</p>	<p>・広報等で情報発信し、「いにしえ夢街道」構想の一層の周知をはかることにより、県民の参加参加を促すとともに、新ゾーンの設定に取り組み、県民がふるさと徳島の歴史を再発見し、郷土を愛する心の育成を図る。</p> <p>・丹田古墳や遍路道でのウォーキングや講演会の開催では、地元の反響が大きく、次年度の開催を要望されている。新ゾーンの基礎づくりとして地域を主体とした取組を行う。</p>	教育	B	
	○活用ゾーンの数 [22]4ゾーン→[26]8ゾーン	5 ゾーン	6 ゾーン	7 ゾーン	8 ゾーン	4ゾーン					
80	●「四国八十八箇所霊場と遍路道」は「世界に誇る四国の財産」であり、この「かけがえのない文化資産」を全国に、さらには世界へ向けて発信し、人類共有の財産として将来の世代へ保存・継承していくため、四国4県や関係団体が連携して世界遺産登録を目指した取組を加速します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>1 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会及び協議会の下に置かれる各部会において、文化庁から示された個別課題（普遍的価値の証明、文化財資産の保護等）について検討を行った。（四国4県全体での取組）</p> <p>2 「受入態勢の整備」部会県別作業部会を開催し、今後の取組内容等について協議した。</p> <p>3 第20番札所「鶴林寺」において、寺院及び寺院に続く遍路道の詳細調査を実施した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt; ○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>徳島県では、寺院及び遍路道の詳細調査を行うなど、国史跡指定に向けて着実に推進しているが、四国全体として一層の取組が必要である。 (課題把握の方法) 推進協議会及び各部会における議論を通じ、構成員で課題を共有している。</p>	<p>○平成22年度及び平成23年度に実施した詳細調査を基に、「阿波遍路道（いわや道）」約2.8kmを国史跡に追加申請を予定</p> <p>○大学教授等専門家による「阿波遍路道・札所寺院保存検討委員会」を立ち上げ、県内に所在する遍路道及び札所寺院24箇所の国史跡指定に向けて、検討を開始する。</p> <p>○世界遺産登録推進協議会及び各部会に参加し、更なる検討・取組を行う。</p>	政策	B	
81	3 優れた芸術文化に触れる機会の充実 ●幅広く芸術文化の振興・発展に取り組んできた基盤を生かし、新たなファンを開拓してさらにすそ野を広げ、芸術文化が息づくまちづくりを推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>第14回県民文化祭として、スペシャルコンサート（国民文化祭プレフェスティバル）や市町村連携コンサート、アウトリーチ事業、分野別フェスティバル、もっとみんなで参加事業等を実施するなど、芸術文化のすそ野の拡大を図った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>県民の芸術文化活動の一層の活性化。</p>	<p>・県民文化祭を国民文化祭特別協賛事業として国民文化祭と一体的に実施することにより、県民の芸術文化活動の活性化等を図るとともに、国民文化祭を盛り上げる。</p>	県民	B	
82	●音楽文化が息づくまちづくりを推進するため、徳島に共感を持った音楽家で構成する「とくしま記念オーケストラ（とくしま国民文化祭記念管弦楽団）*」を創設し、コンサート等を開催します。	創設・開催	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>音楽監督にわが国を代表する指揮者・秋山和慶氏を迎えた「とくしま記念オーケストラ」を編成し、「国民文化祭プレフェスティバル」などで県民に質の高い音楽を提供するとともに、県内音楽団体との共演や演奏指導を通じて、「音楽文化が息づくまちづくり」を進めた。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>「とくしま記念オーケストラ」を活用した、音楽文化が息づくまちづくりの推進。</p>	<p>・「とくしま記念オーケストラ」による質の高い音楽の提供とアウトリーチを通じた県内音楽団体のレベルアップ、すそ野の拡大を図る。</p>	県民	A	
	○「とくしま記念オーケストラ（とくしま国民文化祭記念管弦楽団）」の創設 [23]創設	創設				創設					
	○コンサートの開催数（累計） [21] → [26]23回	5回	13回	18回	23回	5回					



番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
83	●児童生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;  1文化庁 次代を担う子どもの芸術表現体験事業（巡回公演事業・派遣事業・夢アートアカデミー）  2学校文化教育活性化・プロデュース事業  &lt;現状での達成見込み&gt;◎  &lt;課題&gt;  文化庁の事業は募集期間が短いので、期間内で講師との調整がつかず申請できない学校がある。（課題把握の方法）  地教委や学校から実施希望があっても準備できないとの報告があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村説明会、校長会等を通じて事前に事業を周知する。</li> <li>・学校が希望する外部講師を見つけ、連絡が取りやすいように、文化教育人材バンクの活用を促す。</li> </ul>	教育	A	
	○学校への芸術家等派遣回数（累計） [21]282回→[26]450回	375回	400回	425回	450回	447回					
84	●博物館・近代美術館・鳥居龍蔵記念博物館の常設展示や国立美術館巡回展等の魅力ある企画展の開催を通じ、広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;  文化の森各館において、常設展、特別展を開催した。  企画展開催実績  博物館「人形・ひとがた一祈りから遊びまで」、「描かれた地震」  近代美術館「あなたの心に手をさしのべてー森口ゆたか展」、「スウィングン・ロンドン」「50's-60's」「魅力発見!わたくしたちの美術館」展  鳥居龍蔵記念博物館「鳥居龍蔵が見た台湾」「鳥居龍蔵の見た北東アジア」  &lt;現状での達成見込み&gt;○  &lt;課題&gt;  来館者増</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化の森各館において、魅力的な常設展、企画展を開催する。</li> </ul>	教育	B	
	○博物館・近代美術館・鳥居龍蔵記念博物館入館者数（累計） [21]335万人→[26]450万人	382万人	405万人	427万人	450万人	379万人					
85	4 文化の担い手づくり ●あわ文化や近現代の優れた芸術作品に直接触れあう機会を設けるとともに、絵本の読み聞かせ講習や、史跡巡り、ワークショップ、古文書解説等の事業により、次代のあわ文化の担い手を育みます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;  ・文化の森文化施設普及事業 各館開催回数  近代美術館55回、博物館96回、文書館49回、鳥居龍蔵記念博物館10回、二十一世紀館44回であり、計画的に開講できている。  ・文学書道館の講座開講回数  文学38回、書道10回の講座を開催した。  &lt;現状での達成見込み&gt;○  &lt;課題&gt;  講座開催状況の一層の周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の森各館では、引き続き、年間を通じて切れ目なくイベントを開催する。</li> <li>・文学書道館では、ホームページ等を活用したPRを行う。</li> </ul>	教育	A	
	○文化の森文化施設普及事業の開催回数（累計） [21]986回→[26]2,250回以上	1,500回	1,750回	2,000回	2,250回以上	1,515回					
	○文学書道館の講座開催回数 [23]～年間40回以上	年間40回以上	年間40回以上	年間40回以上	年間40回以上	48回					
86	●児童生徒を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行うとともに、伝統芸能の文化発信活動を支援します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;  1全国高等学校総合文化祭派遣事業  2近畿高等学校総合文化祭派遣事業  3徳島県中学校合同作品展の開催  &lt;現状での達成見込み&gt;◎  &lt;課題&gt;  中学校合同文化作品展については、全ての中学校が参加できるように作品の効率的な集荷方法の検討が必要。  （課題把握の方法）  学校から、集荷に来てくれないと作品を送る方法がないとの報告があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同作品展について市町村説明会、校長会等を通じて出品を依頼する。</li> <li>・中学校美術部会や参加校と集荷方法等について協議し、集荷について協力を依頼する。</li> </ul>	教育	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
87	●文化遺産や芸術文化に関する「人材バンク」の登録を推進するなど、OUR文化教育の創造に取り組みます。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 1 文化教育人材バンクの組織化 2 学校文化教育活性化・プロデュース事業を活用し、希望する学校に人材を派遣した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 芸術文化分野の登録件数が多く、伝統文化分野の登録件数が少ない。 (課題把握の方法) 学校へのアンケート等で、郷土料理や藍染めなどの伝統文化分野の人材を増やしてほしいとの要望があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村説明会、校長会等で文化教育人材バンクについて周知する。</li> <li>文化遺産や郷土料理・民俗芸能・邦楽などの伝統文化を指導できる個人・団体を探し、登録を依頼し、人材バンクの充実を図る。</li> <li>バンクを活用し、「ふるさと文化発信次世代創造事業」により、希望する学校に人材を派遣し、県内の文化財や伝統文化に触れる機会を増やす。</li> <li>文化庁等事業での利用や学校独自の活用を促す。</li> </ul>	教育	A	
	○「人材バンク」登録者数（累計） [21] → [26]100人	※50人	※75人	※90人	※100人	158人					

1-5 スポーツ王国とくしまづくり

88	1 スポーツの振興 ●新たな「徳島県スポーツ振興基本計画」を策定し、着実な推進を図ります。また、県民をはじめ、各市町村、各スポーツ関係団体等の理解と協力を得て、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」の振興、学校における体育・スポーツの充実を図るとともに、スポーツを活かした各種施策とのより一層の連携強化を図ります。		策定・推進	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 「スポーツ王国とくしま推進会議」を設けスポーツ関係団体の連携を強化するとともに、スポーツ推進審議会において新たな「徳島県スポーツ推進計画（素案）」を審議・検討した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 生涯スポーツ、競技スポーツの振興。 (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じた県民の元気を創造するために、新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定する。</li> </ul>	県民	A	
	○新たな「徳島県スポーツ振興基本計画」の策定 [24]策定・推進		策定・推進			審議・検討					
89	●「とくしまスポーツ憲章」に則り、全国大会等で優秀な成績をおさめた個人・団体を表彰・褒賞するなど、県民スポーツの振興を図ります。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 全国大会等で優秀な成績をおさめた個人・団体を表彰するとともに、ポカリスエットスタジアムにその業績を讃える銘板を設置した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 全国大会等で活躍する選手等の増加。 (課題把握の方法) 部局内の判断だけでなく、関係団体等外部との協議等を踏まえて課題の把握及び整理をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優秀な成績をおさめた選手等を讃え、そのモチベーションの向上を図る。</li> </ul>	県民	A	
90	●創意工夫あふれるスポーツ振興を支援するため、「スポーツ王国とくしま推進基金」を創設します。	創設・推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;宝くじ収益金等を活用した「スポーツ王国とくしま推進基金」を創設し、創意工夫あふれるスポーツ振興を支援した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 子ども体力向上や国体の順位向上等に向けた継続的取組。 (課題把握の方法) 部局内の判断だけでなく、スポーツ王国とくしま推進会議の意見を踏まえ課題の把握及び整理をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基金を活用した継続的なスポーツ振興により「スポーツ王国とくしま」づくりを進める。</li> </ul>	県民	A	
	○スポーツ王国とくしま推進基金の創設 [23]創設	創設				創設					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
91	2 プロスポーツ等を通じたにぎわいづくりの推進 ●「徳島スポーツビレッジ」などのスポーツ施設や、自然環境を活用して、スポーツ大会や合宿の誘致を進めることで、スポーツを通じたにぎわいづくりを推進します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組状況と進捗状況&gt;</p> <p>1 企業スポーツクラブ・大学運動部への合宿誘致（211か所）</p> <p>2 ホームページ等によるPR</p> <p>3 合宿問い合わせに対する、スポーツ施設や宿泊施設と連携した、ワンストップサービスの実施</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>新規開拓とスポーツ施設の充実 (課題の把握方法)</p> <p>旅行エージェント、施設とのより一層の情報共有</p>	引き続き、取組を継続する。	商工	B	
92	●にぎわいの創出を通じたプロサッカーチームのJ1昇格への機運醸成を図るとともに、J1仕様の施設整備の検討を行います。	検討	→	→	→		<p>&lt;H23取組状況と進捗状況&gt;</p> <p>1 ホームタウン連携事業の実施（6,169人）</p> <p>2 プロスポーツグループ招待事業の実施（328人）</p> <p>3 J1ジャンプアップ事業の実施（2,507人）</p> <p>4 プロスポーツMVP事業の実施（1,246人）</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ホームタウンの招待事業が平成24年度からなくなったため、数値目標を変更する必要がある。 (課題の把握方法)</p> <p>来場者数等の関連指標の精査を行った。</p>	引き続き、取組を継続する。	商工・県土	B	「J1昇格への機運を醸成する」となっており、4事業を実施しているが、<課題>の欄において、「24年度から招待事業がなくなったため数値目標の変更が必要である」と記載している。このことは、事業効果がないとも考えられることから、数値目標は達成しているが、B評価とした。
93	●市町村等と連携協力し、プロスポーツを活用したスタジアムのにぎわい創出や、本県を全国にPRする施策を展開します。	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組状況と進捗状況&gt;</p> <p>1 プロスポーツグループ招待事業の実施（205人）</p> <p>2 プロスポーツMVP事業の実施</p> <p>3 徳島インディゴソックス県民ふれあい月間事業（323人）</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>より一層、県民の関心を高めていく必要がある。 (課題の把握方法)</p> <p>徳島インディゴソックスとの情報共有により、課題の把握及び整理を行った。</p>	引き続き、取組を継続する。	商工	A	
	○徳島ヴォルティスホームタウン等イベント参加者数 [21]4,470人→[26]9,000人	7,500人	8,000人	8,500人	9,000人	10,250人					
94	●競技団体や関係機関との連携による全国規模のスポーツ大会の開催を誘致し、その定着を図ることにより、競技力の向上に取り組み、スポーツの交流を通じた活気あふれるスポーツ王国づくりを目指します。（再掲）	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt;</p> <p>・「全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」、「西日本グラウンドゴルフ大会」など、全国規模の大会を5大会開催した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>本県で開催される大会の定着と新たな大会の誘致。 (課題把握の方法)</p> <p>部局内の判断だけでなく、関係団体等外部との協議等を踏まえて課題の把握及び整理をしている。</p>	・競技団体等と連携し、全国規模スポーツ大会の誘致活動を進める。	県民	A	
	○全国規模スポーツ大会の開催数 [23]～[26]毎年4大会以上	4大会以上	4大会以上	4大会以上	4大会以上	5大会					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
95	<p><b>3 競技力向上対策の推進</b></p> <p>●県出身者が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続的に支援します。また、競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図り、競技力の向上を進めます。</p>	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 一貫指導の育成プログラムを作成した22競技団体を支援するとともに、強化対象競技団体の絞り込みを行い強化費の重点配分等を行った。 &lt;現状での達成見込み&gt;○ &lt;課題&gt; 中長期的に継続した取組。 (課題把握の方法) 部局内の判断だけでなく、関係団体等外部との協議等を踏まえて課題の把握及び整理をしている。</p>	<p>・競技団体や関係機関と連携・協働し、競技力の向上に取り組む。</p>	県民	B	
	○国民体育大会天皇杯順位 [26]30位台				30位台	推進					
96	<p>●有力選手を特定の公立高校へ集め、指導体制を整備するとともに、中学校と高校及び各競技団体等の関係機関と高校との連携強化を進めるなど、競技力向上のための基盤強化を図ります。</p>	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 平成23年度は、23校32部を指定し、①遠征・合宿等のための強化費の補助 ②指導者の適性配置 ③入学選抜の特色選抜で募集人員を定めることができる等により、指定校の強化活動を支援した。さらに、指定校生以外の有望選手に対しても、競技スポーツ重点強化対策事業として、県選抜チームの強化活動の推進を行った。 &lt;現状での達成見込み&gt;○ &lt;課題&gt; 22年度は入賞者数が10あったが、23年度は1桁に減った。入賞に後一步の競技があり、選手の精神面の強化や指導者の指導力向上を図る必要がある。</p>	<p>・評価委員会の評価を生かし、事業を有効に機能させる。 ・補助金に成果主義を取り入れる。 ・スポーツ拠点推進事業を積極的に活用するとともに、県民スポーツ課や県体育協会と連携し、指導者の指導力向上や選手の競技力向上を図る。 ・中学校や地域との連携を図り、底辺の拡大や競技力の向上に努める</p>	教育	B	
	○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 [21]10団体→[26]14団体				14団体	7団体					
97	<p>●平成24年度に開校する鳴門渦潮高校に本県初となる体育科を設置し、本県スポーツの拠点校として、より高度で質の高いスポーツ教育を行うために必要な施設・設備の整備を図ります。</p>	整備	開校 整備	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 専門的で効果的な教育設備として、「3次元画像動作解析システム」、「トレーニング機器」を整備した。またスポーツ拠点としての機能充実を図り、人工芝サッカー場及びクラブハウスを整備するとともに、第2体育館（仮称）の改築に係る設計に着手した。 &lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 第2体育館の機能充実やトレーニング室（仮称）の改修を計画的に検討する。 (課題把握の方法) スケジュール管理により把握した</p>	<p>・鳴門渦潮高校及び関係課で定期的に、設計等に関する協議を行う。</p>	教育	A	
	○鳴門渦潮高校の設置 [24]開校		開校			整備					
98	<p><b>4 生涯スポーツの推進</b></p> <p>●「する」「観る」「支える」など多様なスポーツへの取組を促進するため、「とくしまスポーツSHOWデー」推進事業による、誰もが楽しめるスポーツイベントなどへの助成や情報発信などを行います。</p>	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 企業からの協賛金を活用し、スポーツイベントを支援するとともに、全国大会出場者の応援を盛り上げるため、オリジナルの横断幕等を貸し出すなど、県民のスポーツ振興気運を盛り上げた。 &lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; する、観る、支えるといった多様なスポーツの意義の普及啓発。 (課題把握の方法) 部局内の判断だけでなく、スポーツ王国とくしま推進会議の意見を踏まえ課題の把握及び整理をしている。</p>	<p>・企業の協力を得て、スポーツ人口を増やすための魅力ある事業を展開する。</p>	県民	B	
	○イベント等助成数 [23]～20件/年	20件/年	20件/年	20件/年	20件/年	21件/年					

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				実績値 (23年度)	H23取組内容と進捗状況・現状での達成見込み・課題	今後の取組方針 (箇条書き)	部局	委員意見	
		H23	H24	H25	H26					評価	特記事項
99	<p>●「総合型地域スポーツクラブ*」の創設・育成を支援するとともに、スポーツを活用した健康づくりの体制を整備し、みんなが楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの会員数 [21]5,456人→[26]9,500人</p>	推進	→	→	→	7,271人	<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 市町村教育委員会等と連携し、生涯スポーツ振興の中核となる「総合型地域スポーツクラブ」の設立やクラブを支える人材育成を支援した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; 指導者や運営スタッフの養成。 (課題把握の方法) これまでの取組を踏まえて課題を認識し、その原因等を分析している。</p>	<p>・「総合型地域スポーツクラブ」を育成・支援し、スポーツ人口の拡大を図る。</p>	県民	A	
100	<p>●健康や環境にも好影響をもたらす自転車を活用したサイクルスポーツの普及を図る「とくしま自転車王国創造プロジェクト」を推進し、余暇にスポーツを楽しむきっかけを創出します。</p> <p>○サイクルスポーツ普及イベントの開催 [21]～実施</p>	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; ライドイベントやミニガイドツアーリング等を実施し、サイクルスポーツの普及を図るとともに、「自転車王国とくしま」公式コースマップを活用し、県内外へ情報発信を行った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;◎ &lt;課題&gt; サイクルイベントのブランド化を図る。</p>	<p>・自転車関係団体と連携し、魅力的で継続的なイベント開催により、「自転車王国とくしま」づくりを進める。</p>	県民	B	
101	<p>5 生涯スポーツの拠点づくり ●鳴門渦潮高校を本県スポーツの拠点校として、県体育協会、各種競技団体、大学等との連携や、鳴門・大塚スポーツパークの運動施設の活用などにより、体育に関する講習会やスポーツ教室を開催するなど、県民の生涯スポーツの振興を図ります。</p>		推進	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 鳴門渦潮高校に設置された最先端のスポーツ機器等を活用したり、大学や各種団体と連携し、スポーツ拠点としての機能を充実させるため、スポーツ拠点推進事業として5つの事業を計画した。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○ &lt;課題&gt; 「スポーツ拠点推進事業」に係る各種事業の実施要項を検討する。</p>	<p>・24年度に、体育学校安全課の分室を鳴門渦潮高校に設置。 ・スポーツ拠点推進事業を専門に担当する指導主事を配置。 ・各事業に対して綿密に計画し、鳴門渦潮高校や大学・県体協等と連携を図り、円滑な実施に努める。</p>	教育	A	
102	<p>●生涯スポーツの拠点づくりのため、県南等における運動公園の整備を推進します。</p> <p>○南部健康運動公園の整備 [21]整備中→[24]テニスコートエリアの整備完了</p>	推進	→	→	→		<p>&lt;H23取組内容と進捗状況&gt; 平成23年度は、テニスコート周辺工事として、観覧席やフェンス等の整備、ソフトボール場の造成に伴う地盤改良を行った。</p> <p>&lt;現状での達成見込み&gt;○ &lt;課題&gt; 埋立地特有の残留沈下がある。 (課題把握の方法)地盤沈下解析</p>	<p>・残るテニスコート4面の整備に向けて舗装工事を行う ・公共残土を有効利用した圧密沈下促進の盛土を実施</p>	県土	B	
	<p>○橘港小勝・後戸地区の緑地整備（スポーツ・レクリエーション振興ゾーン） [21]整備中→[26]ソフトボール場の一部供用</p>					ソフトボール場の一部供用					